

令和4年度

行政座談会アンケートの集計結果と自由意見記入欄の分析等について

No	対象校区	会 場	日 時
1	通山小学校区	通山小学校体育館	5月19日(木)午後7時～
2	山本小学校区	山本小学校体育館	5月23日(月)午後7時～
3	多賀小学校区	多賀小学校体育館	5月25日(水)午後7時～
4	東小学校区	東小学校体育館	5月26日(木)午後7時～
5	川南小学校区	川南小学校体育館	5月27日(金)午後7時～
6	全地区	サンA川南文化ホール	5月29日(日)午後1時～

参加者総数:286名

うちアンケート回収総数:246名

(うち自由意見記入者総数121名)

1 アンケート回収数

会 場	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	空白	総計
通山小学校		1	1	4	7	4	10		2	29
山本小学校		1	4	4	1	7	8		4	29
多賀小学校		2	1	1	6	6	14		4	34
東小学校		2	1	10	1	12	7	1	2	36
川南小学校	1	7	10	15	9	7	6	1	2	58
サンA川南文化ホール		1	8	9	9	10	14	1	8	60
総 計	1	14	25	43	33	46	59	3	22	246

2 座談会を知った経緯

保育所等を通じた案内チラシ	16
小中学校を通じた案内チラシ	24
各種団体からの案内	34
お知らせかわみなみ	95
防災無線	85
役場ホームページ	13
その他	37

※複数回答あり

3 参加状況等(参考:右の図は令和2年度の状況です)

令和4年度の状況			
会 場	参加者数	アンケート回答数	回答率
通山小学校体育館	29	29	100.0%
山本小学校体育館	34	29	85.3%
多賀小学校体育館	37	34	91.9%
東小学校体育館	41	36	87.8%
川南小学校体育館	73	58	79.5%
サンA川南文化ホール	72	60	83.3%
合計	286	246	86.0%

令和2年度の状況			
会 場	参加者数	アンケート回答数	回答率
通山小学校体育館	47	43	91.5%
山本小学校体育館	32	27	84.4%
多賀小学校体育館	35	35	100.0%
東小学校体育館	38	37	97.4%
川南小学校体育館	44	34	77.3%
農村センター	71	56	78.9%
合計	267	232	86.9%

当座談会の開催は、5月19日から通山小学校体育館の会場をスタートに町内全6会場で開催いたしました。
第6次川南町長期総合計画で掲げております、
「豊かさを活かし 共に未来を拓くまち かわみなみ」づくりの推進と共に、行政に関する情報を積極的に公開し、信頼される町政運営の実現を図ることを目的として実施したものです。

よって、上記総合計画策定の根幹、方向性の柱となりました「人口減少社会」の現状や将来予想の分析等をはじめ、令和8年度の開校に向けその基本計画が議会で可決されました「新中学校」をめぐるこれまでの動きやこれからの計画等を中心に、資料に基づきながら日高町長が町民の皆様へ直接説明を行いました。また、座談会の流れとしましては、冒頭に町長による約40分の説明を行い、その後町民の皆様からの質疑等に対する答弁、という運営スタイルとしました。

説明部分を除けば、会の後半部分に設けました「質疑応答の時間」の内容は、結果として「新中学校の立地場所に反対の意思を示す声が多数」を占めました。

また、全ての参加者(全6会場の参加者総数は286名)にアンケートを求め、うち回収した総数は246名で、回収率は、全体の86%でありました。

なお、アンケートに用意しました「自由意見記入欄」に記入された方々は、延べ121名(QRコードからの回答者17名含む)でありました(記入率49.1%)。

つまり、座談会終了後、アンケート用紙を回収箱等に投じた方々の約半分が、自由意見に記入してくださいました。

次に、記入されていた意見等の傾向について分析結果をお示しします。

アンケート用紙に書かれていました自由意見の多彩な内容(別添PDFデータもご参照ください)を、以下の6項目に分類しました。

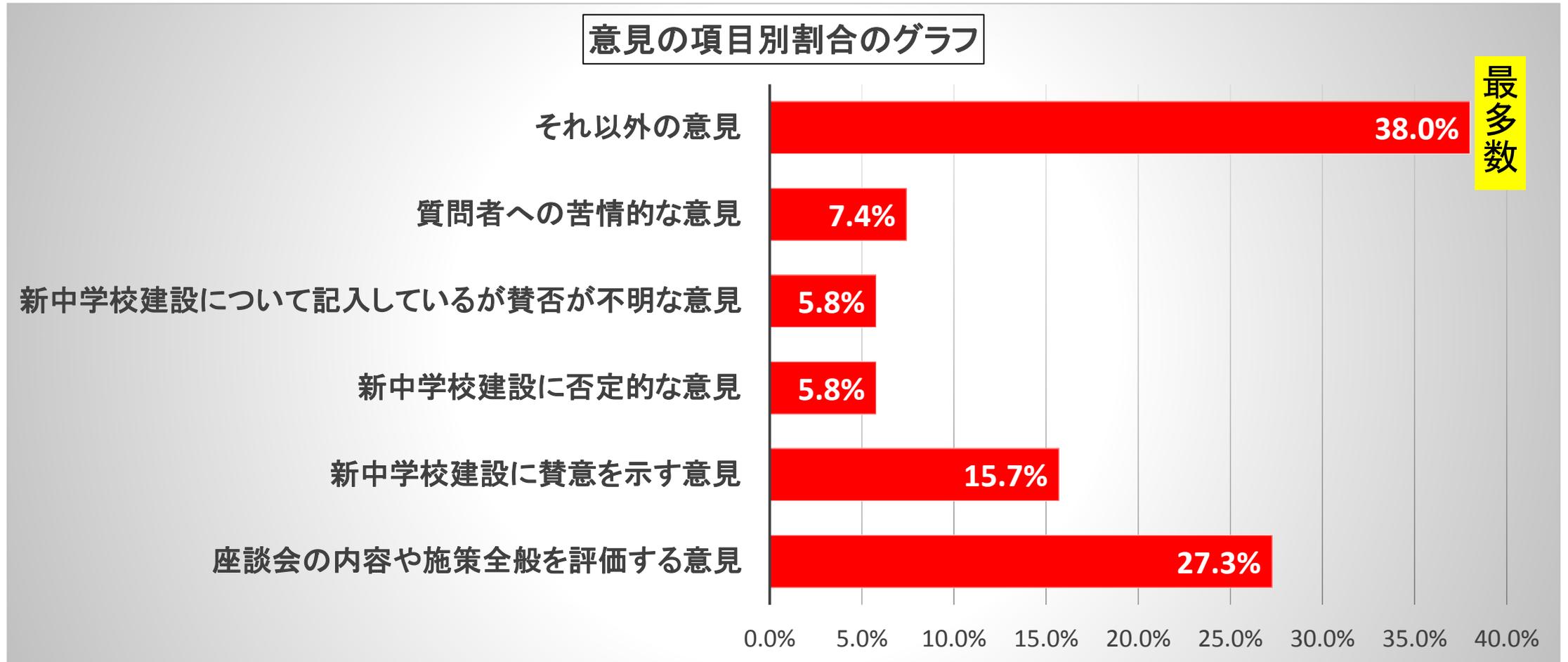
同時に、年代別に区分けを行っております。

ご覧のとおり、60代が25.6%と記入割合が最も高く、次が70代となっております。

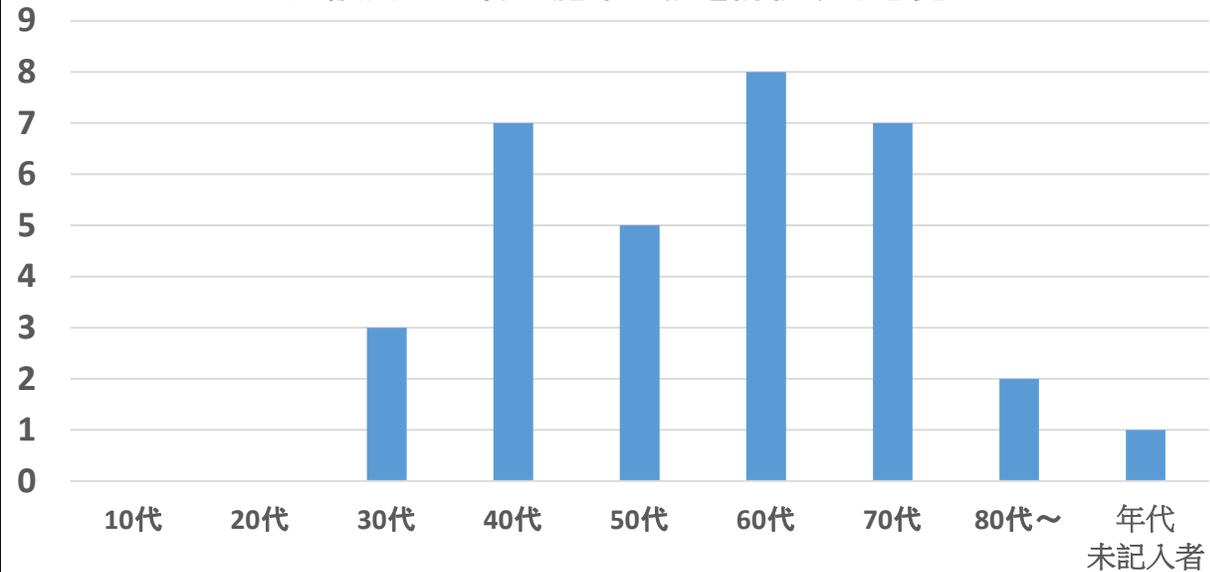
なお、分類した項目の最多数は、「それ以外の意見」でありました。

年代	①座談会の内容や施策全般を評価する意見	②新中学校建設に賛意を示す意見	③新中学校建設に否定的な意見	④新中学校建設について記入しているが賛否が不明な意見	⑤質問者への苦情的な意見	⑥それ以外の意見	年代毎の総計	意見記入の割合	左記の割合順位
10代	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%	9位
20代	0人	0人	0人	1人	0人	4人	5人	4.1%	7位
30代	3人	2人	0人	1人	0人	6人	12人	9.9%	4位
40代	7人	7人	1人	1人	3人	5人	24人	19.8%	3位
50代	5人	1人	1人	0人	0人	3人	10人	8.3%	5位
60代	8人	4人	2人	1人	4人	12人	31人	25.6%	1位
70代	7人	3人	2人	3人	1人	12人	28人	23.1%	2位
80代～	2人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	1.7%	8位
年代未記入者	1人	2人	1人	0人	1人	4人	9人	7.4%	6位
総計	33人	19人	7人	7人	9人	46人	121人		
割合	27.3%	15.7%	5.8%	5.8%	7.4%	38.0%	100.0%		

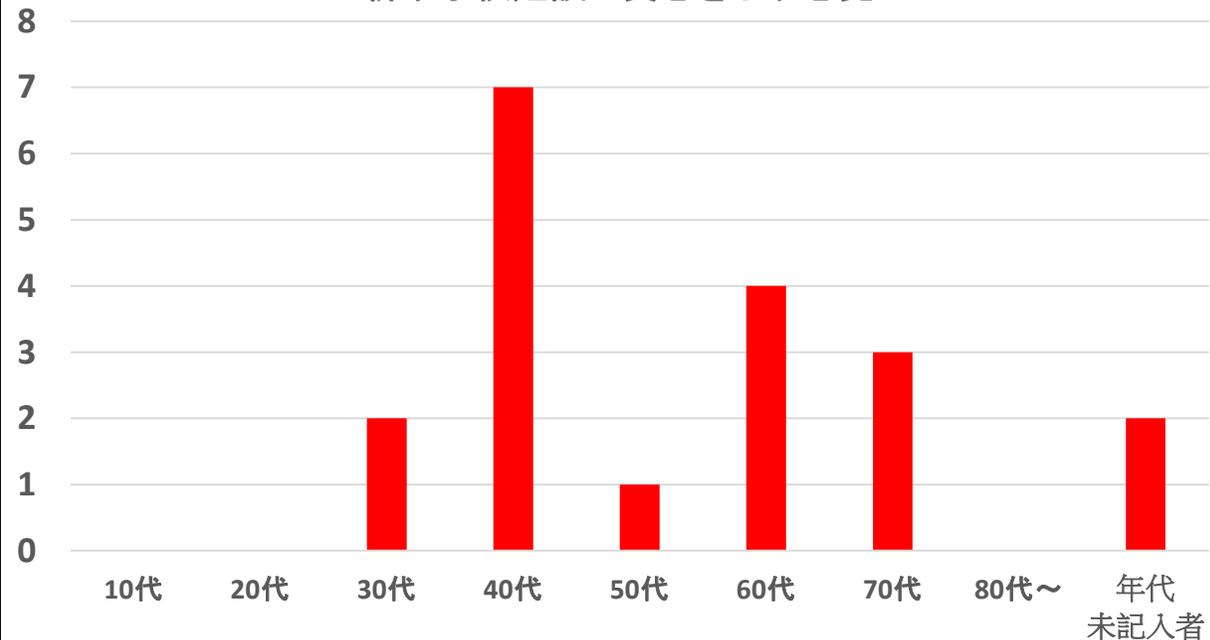
以下は、前ページの数値をグラフ化したものです。



座談会の内容や施策全般を評価する意見



新中学校建設に賛意を示す意見

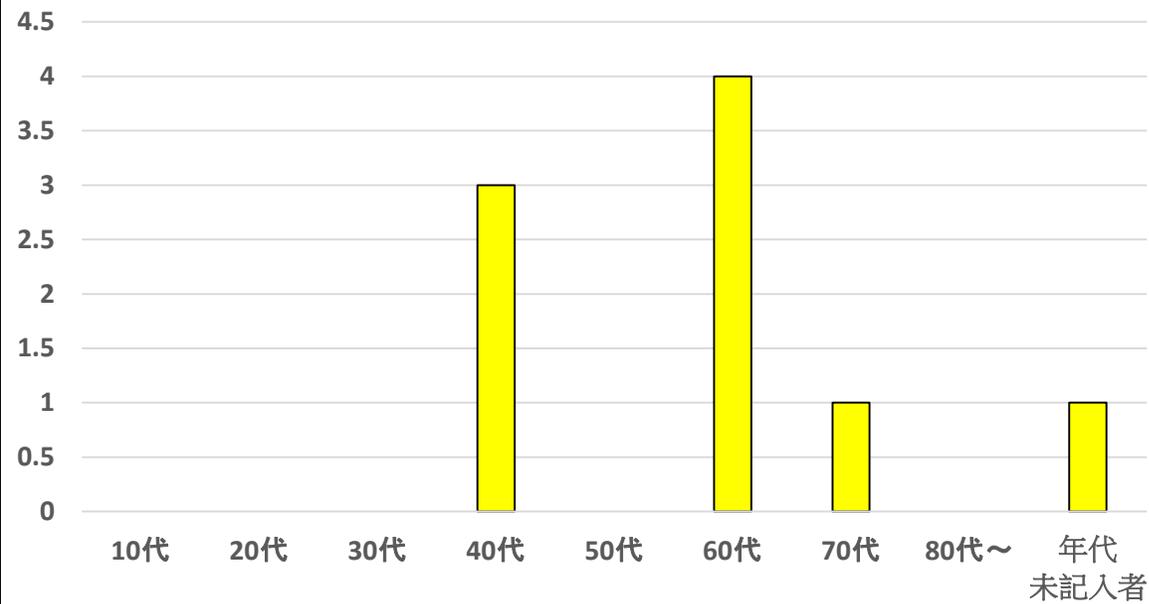


年代	座談会の内容や施策全般を評価する意見	新中学校建設に賛意を示す意見
10代	0人	0人
20代	0人	0人
30代	3人	2人
40代	7人	7人
50代	5人	1人
60代	8人	4人
70代	7人	3人
80代～	2人	0人
年代未記入者	1人	2人
総計	33人	19人
割合	27.3%	15.7%

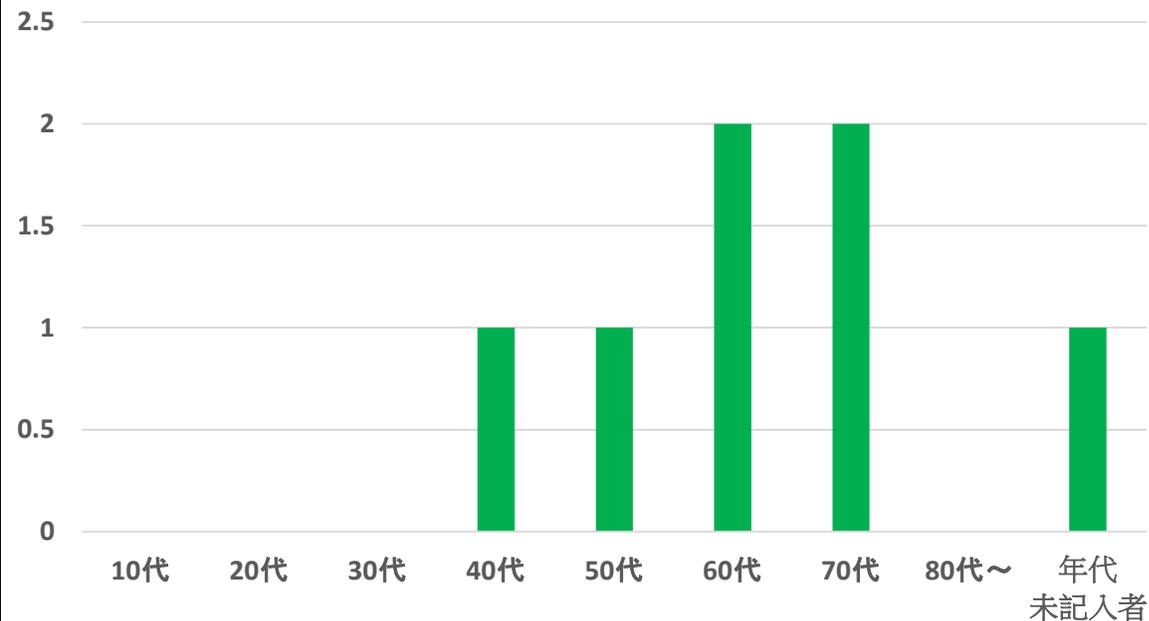
2番目に多かった意見は、「座談会の内容や施策全般を評価する意見(33人)」でありました。

3番目に多かった意見は、当座談会の質疑応答の中心となりました「新中学校建設」に**賛意を示す意見(19人)**であったという結果は、これまでの町行政の実績や計画が総合的に評価されているものと考えます。

質問者への苦情的な意見



新中学校建設に否定的な意見



年代	質問者への苦情的な意見	新中学校建設に否定的な意見
10代	0人	0人
20代	0人	0人
30代	0人	0人
40代	3人	1人
50代	0人	1人
60代	4人	2人
70代	1人	2人
80代～	0人	0人
年代未記入者	1人	1人
総計	9人	7人
割合	7.4%	5.8%

また、4番目の多さとなりました「質問者への苦情的な意見(9人)」が「中学校建設に否定的な意見(7人)」の数を上回っていることは、特筆に値するものだと思います。

この「質問者への苦情的な意見」を書かれた方々は、「新中学校建設を町の中央部に建設する計画を支持する」方々であり、その意見を会場で表明しなかったものの、質疑の冒頭から「新中学校の建設反対論」を声高く、かつ連続して発せられたことにより、その機会を失われた、などを含む怒りや憤りの記載が多く綴られております。

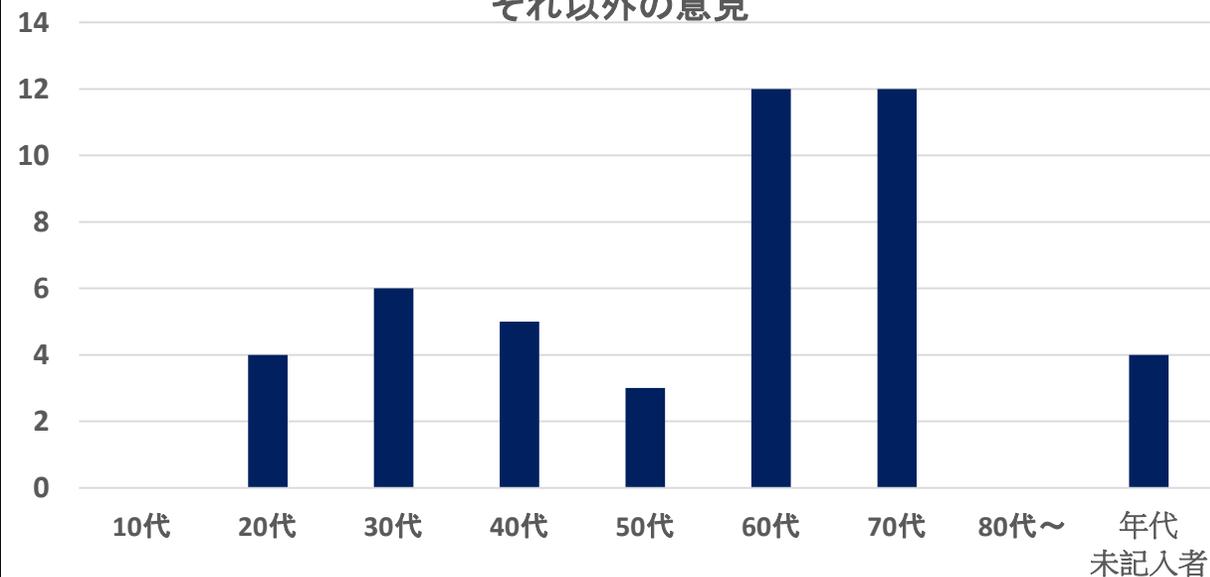
よって、この数字も町行政を評価・支持する値としてカウントできるものと判断します。

なお、「新中学校建設に否定的な意見(7人)」については、町の中心部に新たに建設することで生じる生徒の安全面を心配する点や、先行き不透明な社会情勢の中で多額の予算を投じることへの心配や不満、住民アンケートの対象者数が妥当ではない、などと主張する内容が書かれていました。

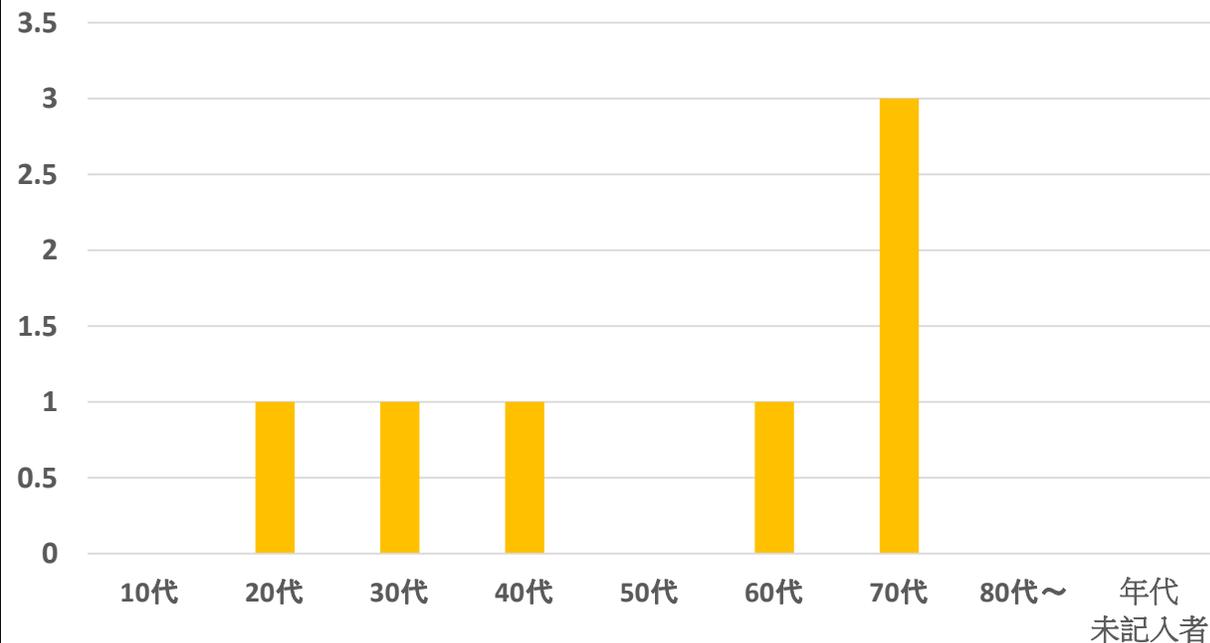
子どもの安全面や町の将来を心配してくださる建設的な意見は、住みよいまちづくりにとっても貴重な意見であります。

同時に、行政に対する不満な点に対しての意見や要望は、今後もしっかりと聴き取りながら、検証・検討を重ね、修正・対応できることは速やかに取り組み続けなければならないと考えます。

それ以外の意見



新中学校建設について記入しているが賛否が不明な意見



年代	それ以外の意見	新中学校建設について記入しているが賛否が不明な意見
10代	0人	0人
20代	4人	1人
30代	6人	1人
40代	5人	1人
50代	3人	0人
60代	12人	1人
70代	12人	3人
80代～	0人	0人
年代未記入者	4人	0人
総計	46人	7
割合	38.0%	5.8%

分類の最多数となりました「それ以外の意見(46人)」の中身进行分析しますと、「若い世代が興味を持ち引っ張っていく気持ちが大切だと思います(20代、会場:川南小)」や、「それぞれの思いがあるが、最終的には子どもたちがどう考え、どうしていきたいかが一番大事だと思います(20代、会場:川南小)」、「年代によって行政に対する意識が違ってきていると思います。もっと若い世代、子どもを中心に意見を発信しやすい会にしていきたいです(30代、会場:サンA)」、「若い方の参加が少ないのが残念だと思います。子どもを持つ保護者の意見が聞けるとよかったのでは...(40代、会場:通山小)」など、捉え方によっては町行政の方向性を理解しているような記述や子どもからの直接意見を求める提案などが散見されております。

一方で、座談会の開催時間(説明・質疑応答)の配分等に対する不満(質疑応答より町長の説明時間を多く確保していること)も複数寄せられている点や、町民の多様な意見等に対して、それを真摯に受けとめ今後において丁寧に親切に行政を進めることを要望する意見が複数寄せられていることから、課題や改善すべき部分を十分に検証し、次回に繋げて行く必要を感じております。

なお、「新中学校建設について記入しているが賛否が不明な意見(7人)」も寄せられております。

次に、アンケート回答者数から算出しました参加者の年代別割合につきましては、70代の方々の参加割合がトップであり、60代がそれに続く結果となりました。

最後になりますが、町行政はこれからも正しい方向性と正しい情報をしっかりと町民の皆様へ伝えることに心を配りながら、最終的には民主的に判断をすることを意識し、町政を健全に運営する責務を果たしてまいります。

ご参加いただきました全ての皆様に心から感謝申し上げます。

令和4年6月 川南町

年 代	うちアンケート回答者総数	左記の人数から算出した年代の割合	左記の割合順位
10代	1人	0.4%	9位
20代	14人	5.7%	7位
30代	25人	10.2%	5位
40代	43人	17.5%	3位
50代	33人	13.4%	4位
60代	46人	18.7%	2位
70代	59人	24.0%	1位
80代	3人	1.2%	8位
未記入者	22人	8.9%	6位
総 計	246人	100.0%	参加者総数:286名